

# 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部
1 -	子どもの学びを充実する	学校教育部、社会教育部

## 所管事業に関連する成果指標

指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
授業（国語、算数・数学）の内容がよく分かると回答した児童生徒の割合	小学校	%	79.0	- 1	81.4		80.0
	中学校	%	71.9	- 1	78.0		72.0
自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合	小学校	%	78.9	- 1	75.7		79.4
	中学校	%	75.3	- 1	72.0		76.2
授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと回答した児童生徒の割合	小学校	%	83.5	- 1	94.5 2		88.0
	中学校	%	77.9	- 1	93.1 2		80.0

- 令和2年度は、全国学力・学習状況調査が実施されなかったため、実績値はありません。
- 令和3年度から、全国学力・学習状況調査における質問項目が変更されたため、「学習の中でコンピュータ（PC・タブレット）などのICT機器を使うのは勉強の役に立つと回答した児童生徒の割合」を掲載します。

## 関連事業

幼・保・小・中連携の推進事業 生きる力を育む学校づくり推進事業 外国人英語指導者の学校訪問事業 日本語指導協力者派遣事業 地域に根ざした教育推進事業 英語教育推進事業 放課後自主学习教室事業 教育指導事業 道徳教育推進事業 GIGAスクール構想推進事業 子ども読書活動推進事業

## 決算額

	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	162,737	471,472		
執行率（%）	83.10	98.26		

## 施策の推進に向けた主な取組の「成果」

### 「学力向上、生きる力を育むための取組」

学びの連続性を図るため、幼児から児童・生徒の成長段階に応じた、学校間での交流に努めました。また、児童の学習意欲の向上や家庭学習の習慣化を目指す取組を進めるとともに、自ら学ぶ力や学び方・考え方を身に付ける学習を推進しました。さらに地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会設置予定校への支援を行いました。

### 「児童、生徒の学びを充実するための取組」

児童、生徒の学びを充実するため、学校の教育活動全体を通じた児童・生徒の心に響く教育の充実を図るとともに、地域の教育資源を生かし、地域に根ざした魅力ある学校教育活動を展開しました。また、日本語指導が必要な外国につながるの児童・生徒等への日本語習得や学校生活への適応・充実を図りました。

各学校の図書ボランティアが、新型コロナウイルス感染症の対策をしながら活動を行いました。各中学校区子ども読書活動推進協議会間の情報共有や連携を図るため、子ども読書活動ネットワーク運営委員会による情報誌を発行しました。また、平塚市子ども読書活動推進プロジェクト実践型イベントを実施し、子どもが読書に親しむための環境づくりを進めました。

### 「情報教育、外国語教育の推進」

G I G Aスクール構想に基づき整備した環境について、適切な保守を実施しました。また、教員向けのICT活用研修を実施しました。

外国人英語指導者や外国語科指導者用デジタル教科書を効果的に活用し、幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ態度及びコミュニケーション能力の育成を図りました。

## 施策を推進する上での「課題」

「学力向上、生きる力を育むための取組」  
「確かな学力」の向上、また生きる力を育むため、継続的かつ体系的に事業を推進していくことが必要です。

「児童、生徒の学びを充実するための取組」  
道徳教育の充実のため、学校全体として道徳教育の推進につなげる必要があります。また、学校教育活動を展開するにあたり、学校や児童・生徒、ボランティア、それぞれのニーズに応じた派遣及び対応につい

## 課題解決を図るための「取組方針」

「学力向上、生きる力を育むための取組」  
「協働した教育活動の充実」、「社会に開かれた教育課程の実現」を目指し、児童・生徒の実態や地域の特性を生かして、家庭、地域との連携を強化します。

「児童、生徒の学びを充実するための取組」  
道徳教育の更なる推進のため、道徳教育推進担当者会を通じて、道徳教育を推進していくための手立てや課題についての研修を行う等、教員の実践力向上を図ります。また、学生ボランティアや日本語指導協力

て確認が必要です。

図書ボランティアの人材確保が難しいこと、また、子ども読書活動推進協議会の運営事務等の負担があることから、協議会の運営方法や負担軽減策を引き続き検討する必要があります。

「情報教育、外国語教育の推進」  
G I G Aスクール構想に基づき整備した環境を継続して維持管理していく必要があります。また、I C T活用について教員のさらなるスキルアップが必要です。外国語科指導者用デジタル教科書を効果的に活用するなど教員の授業力向上のため、小・中学校における英語教育を推進するとともに、授業以外の場で英語を使ったコミュニケーションの場が必要です。

者が児童・生徒たちの学習支援を行う等、学校教育をサポートする活動を推進します。

子ども読書活動推進協議会の意見やニーズを聞き取り、地域の実情に合わせて連携を強化し、図書ボランティアがより活動しやすくなるようサポートに努めます。

「情報教育、外国語教育の推進」  
G I G Aスクール構想に基づき整備した環境を適切に保守します。また、教員向けのI C T活用研修を実施し、教員のスキルアップを図ります。英語教育について理解を深めるとともに、外国語科指導者用デジタル教科書を効果的に活用するなど教員の授業の実践力向上を図り、小・中学校における外国語教育の充実を推進するとともに、イングリッシュイベントを実施することで、授業以外の場で英語を使ったコミュニケーションの場を創出します。